



# 中野区

DATA 【人口】	341,500人 (R6.12.1現在)
【面積】	15.59平方キロメートル
【職員数】	2,202人 (R6.4.1現在)

《発表のテーマ》 丁寧な対応で実績を積み重ね、区民の皆様から愛される清掃事務所で  
あり続けよう！

## <発表概要or今年の特徴>

日常何気なく目にするごみ収集作業。それ以外あまり知られることのない、清掃事務所職員の職務内容や取り組みの成果を発表します。

街中に点在する集積所の維持管理には、我々職員だけではなく、区民の皆様との関りが重要です。特に外国籍の方々へのごみ出しルールの周知や、保育園児・小学生（4年生）への環境学習への取り組みなどについてご紹介します。

## <改善運動の特色やアピールポイントなど>

中野区では、平成16年度から業務改善運動を実施し、今年で21年目を迎えました。

「One Up↑チャレンジ」という名称には、「すべての職員が一つになって もうひとつ上をめざして改善に挑戦しよう」という意味が込められています。

## <メッセージ・意気込み>

全庁で約60の業務改善に取り組んでおり、今回はその中から、12月の庁内発表会で大賞を受賞した事例を発表します。

他自治体の参考になりましたら幸いです。



部署名	東京都中野区環境部ごみゼロ推進課清掃業務
タイトル	丁寧な対応で実績を積み重ね、区民の皆様から愛される清掃事務所であり続けよう！
改善前 【Before】	<p>①中野区は定住率が低く、他の自治体からの転居者が多いため、ごみ出しルールを把握していない方が多い。</p> <p>②放置されたごみや、カラスの被害などによる、集積所の改善要請が寄せられている。</p> <p>③ごみと資源の分け方が分からず、資源をごみとして出してしまっている。</p>

## 取組内容

- ① 転居者の多い集合住宅は、管理会社と協力しリーフレットを配布するなど、ごみ出しルールの理解と協力をお願いする。
- ② 放置されたごみを調べ、排出者を特定し、分別方法やごみ出しルールを説明する。
- ③ 3 Rの推進及び理解を深めてもらうため、保育園・小学校・地域活動の拠点へ出向き、環境学習を行う。

## 効果 【After】

(改善の成果  
・取組の効果)

- ①中野区へ転入した段階からごみ出しルールを理解していただくことにより、集積所が荒れることを未然に防ぐことが可能となる
- ②ごみ出しルールや、ごみと資源の分け方を理解してもらうことにより、3 Rの推進に繋がる。
- ③未来を担う子供たちが3 Rの大切さを知り、環境保護に繋がることとなる。